

患者さまへのお知らせ・お願い

ロビーコンサートのお知らせ

- ◆ 12月 5日(金) 遠藤 美香さん (フルート演奏)
- ◆ 19日(金) 山崎 百合香さん (ピアノ演奏)
- ◆ 25日(木) 中川 順子さん・鈴木寛一さん他 クリスマスコンサート

中央棟1階会計前ロビーにて、19:00より開催いたします。30分間の演奏会です。是非、お越しください。コンサート予定表は、各病棟掲示板および会計前ロビーにて掲載しております。曲目につきましては、コンサート当日、会計前ロビーにて掲示いたします。ご確認ください。

北部イベント

医療安全研修会 緊急時対応訓練

全教職員を対象とした医療安全の教育活動の一環として、AED操作訓練およびコードブルー実地訓練を開催しました。

6月30日(月)～7月4日(金)の1週間を教育週間とし、少しでも多くの職員が参加できるようAED操作訓練を毎日実施し、中日である7月2日(水)に緊急時対応実地訓練(コードブルー実地訓練)を行いました。

AED操作訓練では、AEDはどのようなものであるのか?特徴や使用時の注意事項など概論、北部病院内では何台あって、どこに設置されているのかを医療安全管理室成島医師・武藤看護師より説明され、その後実際に電極をシミュレーターに貼り、放電までの一連の操作訓練を行いました。

緊急時対応実地訓練は、寸劇方式で行いました。『午後7時、中央棟2階中央処置室前でうつ伏せの状態意識消失している人を退勤途中の看護師が発見する』という想定で行いました。この寸劇では、医師・研修医・看護師がそれぞれの役を担い、講習会参加者に緊急事態遭遇時の患者救命のための救急処置(心臓マッサージ)、コードブルーの発信、AED・救急カート等必要物品の搬送と使用、救急処置後の救急外来への患者搬送を理解してもらうことを目的としました。

事前に寸劇協力者とは、綿密な台本の読み合わせと、実際の動きの確認を重ね、入念に準備をしました。実際講習会当日は、寸劇に合わせて、現場状況紹介のナレーションを入れることにより、講習会参加者からは「各場面を理解しやすく、一連の流れが頭に入りました。」「実演だったのでドキドキしながら、私だったらどうするだろう...と考えながら見る事が出来て、収穫が多かった。」「いざという時に院内の物品配置場所の把握の重要性を理解した」と好評の感想が得られました。

今年度は年間安全管理研修計画(感染・倫理・個人情報保護や接客含む)を策定いたしました。『わたしが守る北部の安全!!!』をモットーに職員一人ひとりが安全の構築に努めてまいります。



講習会風景



全教職員持参
携帯版医療安全マニュアル

編集後記

体重が落ちません。一年前の編集後記で「ビリーズブートキャンプ」を実践し始めたが、やってみると結構ハードで・・・という記述をしましたが、案の定、長続きしませんでした。やっぱり普段から運動しないからダメなんだと思い、次の目標を来年3月22日に開催される「東京マラソン2009」にセットしました。今年の「東京マラソン2008」にも応募しましたが、参加者の倍率が高く落選でした。今回も倍率が高く(定員3万人に対して応募が26万1981人に上り、倍率7.5倍)、当選するかは分かりませんが、既にランニングシューズを購入しました。格好からでも構わないので、何とか「運動する習慣」を身につけようと思ったからです。果たして、実践されるか分かりませんが、皆さんも「食欲の秋」にばかりならず、「スポーツの秋」を考えてみては・・・。

広報委員会 委員 小川 孝行

北部病院だより 第52号
平成20年10月31日発行
発行責任者 田口 進(昭和大学横浜市北部病院長)
編集責任者 島田 誠(広報委員会 委員長)
発行 昭和大学横浜市北部病院
〒224-8503 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1
電話 045-949-7000(代表)
URL : <http://www10.showa-u.ac.jp/~hokubu/>
北部病院ホームページにて最新・過去の『病院だより』が参照できます。

北部病院だより 第52号

第52号【2008/10/31 発行】

発行者：昭和大学横浜市北部病院

巻頭言
『ご病気とご家族』
消化器センター 准教授 石田 文生

イベント情報
医療安全研修会 緊急時対応訓練

医師の配属・異動・退職
診療統計
外来担当表
患者さまへのお知らせ・お願い
ロビーコンサートのお知らせ
秋季公開講座開催のお知らせ

患者さまからのご意見・ご要望



秋の陽だまりで、ママと一緒に

巻頭言

『ご病気とご家族』

外来の診察で患者さまご本人から症状をお聞きしたり診察させていただいているときに、付き添いで来られたご家族の方がご心配そうに見守られている姿に接することがよくあります。お尋ねになりたいことがあってもご本人や私たちに遠慮しているのだろうかということが多々あり、お話しされなくてよかったのかなどと後悔してしまいます。

私は中学3年の夏に1カ月ばかり故郷の大学病院に入院したことがあります。夏休み間近、運動クラブの県体予選前日に体調を崩した私は試合の翌日に大学病院を受診し間もなく入院となりました。内分泌に関係した腫瘍が疑われたとのことでした。現在ならば最新鋭のCT撮影画像で腫瘍の有無は受診した日にも判明してしまうのですが、昭和48年当時はPET、MRIはもちろんのことCTもまだ出現していませんでした。病歴から推測されたホルモンの異常を捉えるために毎日蓄尿した尿を調べたり、薬剤を注射したあとのホルモンの反応を経時的に採血したり、何日もかけていろんな検査が行われました。最終的には血管造影で疑われる部分を直接造影する検査がどうしても必要ということになりました。



消化器センター
准教授
石田 文生

私の母は毎日午後私に私の顔を見に来て、私の大好きな冷えた梨やプラムを持ってきてくれました。親友も毎日のように病室で私の相手をしてくれたので私はそれなりに落ち着いて過ごしていました。検査を進めるうちに悪性腫瘍も否定できないということが主治医から両親に説明されたそうです。父の友人の医師がその病気に関する論文などを紹介して下さって、両親はそれらすべてに目を通して病状を知り途方に暮れたそうです。そんな中でも相変わらず母は毎日病室に顔を出してくれていました。しかし大学病院から車を運転して帰る道すがら、信号で車が止まるたびに涙がこぼれてきて前が見えなかったと母が話してくれたのは私が社会人になってからでした。今でもそのことを思い出すたび当時の母の心情に胸が痛みます。そして血管造影の日には父は仕事を休み病院に来てくれました。すべての検査を行っても腫瘍は確定できなかったため、定期的に外来受診して経過を追うことに落ち着きました。

15歳といえばまだまだ子供かも知れませんが、あの時私なりにいろいろ将来のことも含めて考え、病気に向かい合ったのを覚えています。しかし親の愛情というものは当時の私の心には比べるまでもなく深く温かいものだったと知りました。

患者さまご本人の心を最も尊重することは医療の第一歩だと思います。患者さまのお考え、ご希望をお聞きして治療方針の参考とすることは大切です。しかし患者さまはご家族の中で生活を営み、人生を歩んでこられたのであり、ご家族の心はご本人と同じか、さらに愛情というぬくもりに包まれた温かい心情であることを忘れてはならないと思います。ですから、私たちはどんなに忙しくても患者さまだけでなくご家族のお言葉にも耳を傾け治療に反映させるべきです。また、患者さまがご自分では気付かれていないことをご家族の方が見ておられて、大切な症状、病歴などを教えていただくことも多いのです。

どうかご家族の方、ご心配なお気持ちをそのままにしておかず、お聞きになりたいと思われたことはどうぞ何なりとお尋ねください。私たち診療スタッフは患者さまとご家族と私たちが力を合わせて病気に向かい合いたいと願っております。

医師の配属・異動・退職

新規配属医師

【7/2~10/1】

【新規採用】

山口 正哉 (整形外科) 昭和大学 平成 15 年卒

小倉 麻耶 (麻酔科) 高知医科大学 平成 16 年卒

薬師寺 忠幸 (心臓血管カテーテル室) 防衛医科大学 平成 13 年卒

尾又 弘晃 (整形外科) 昭和大学 平成 12 年卒

佐竹 正栄 (消化器センター) 東邦大学 平成 8 年卒

土屋 尚人 (整形外科) 防衛医科大学 平成 13 年卒

【附属病院より】

稲垣 克紀 (整形外科) 昭和大学医学部 整形外科科学教室より

岡本 紘子 (産婦人科) 昭和大学医学部 産婦人科学教室より

大場 啓一郎 (放射線科) 昭和大学 臨床研修センターより

星野 顕宏 (こどもセンター) 藤が丘病院 小児科より

菊池 優 (メンタルケアセンター) 烏山病院 精神神経科より

久行 友和 (消化器センター) 昭和大学医学部 第一病理科学教室より

【長期出張終了】

林 武雅 (消化器センター)

宮地 英行 (消化器センター)

前田 智子 (泌尿器科)

異動・退職医師

【7/1~10/1】

【退職】

京田 学是 (こどもセンター)

上原 大志 (整形外科)

野本 功一 (麻酔科)

【転出】

西山 嘉信 (整形外科) 医学部整形外科学教室へ

藤田 将勝 (整形外科) 医学部救急医学教室へ

岡本 義久 (こどもセンター) 医学部小児科学教室へ

小川 雄一郎 (泌尿器科) 医学部泌尿器科学教室へ

【長期出張】

森川 吉英 (消化器センター)

及川 裕将 (消化器センター)

細谷 寿久 (消化器センター)

診療統計

2008年7~9月統計データ ()内は1日平均

診療実日数 入院...30日(6月)/31日(7月) 外来...25日(6月)/26日(7月)

Table with 5 columns: 外来患者数, 入院患者数, 救急搬送数, 手術件数, and rows for 7月, 8月, 9月.

患者さまへのお礼

厚生労働省では、全国の病院を利用する患者さまから、受療の状況や受けた医療に対する満足度等を調査することにより、患者さまの医療に対する認識や行動を明らかにし、今後の医療行政の基礎資料を得る事を目的とし、平成8年より3年に1度、任意に病院を抽出し、受療行動調査を実施しています。今回は当院も協力病院として、抽出され、10月23日に実施させていただきました。たくさんの方に調査のご協力をいただきました。急な調査でしたが、ご協力ありがとうございました。

外来担当表

外来予定は都合により変更する場合がございますのでご了承ください。平成 20 年 11 月 1 日改訂案

Main table with columns for departments (呼吸器, 消化器, 循環器, etc.) and days of the week (月, 火, 水, 木, 金, 土), listing staff names and their roles.

放射線科の外来日は、月・火・木・金： 腫瘍科二医師です。 心臓血管カテーテル室の外来日は、火曜日午後： 眞野美穂医師です。 腎臓科の外来日は、月・火・木・金： 腎臓科一医師です。